



A 試合会場レポート

試合番号 523

開催日 2024/12/21

令和6年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 女子

会場：Asueアリーナ大阪

観客数：	1,750	開始時間：	14:11	終了時間：	16:42	試合時間：	02:31	主審：	吉岡 奈々	副審：	佐々木 伸子
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-----	--------

ヴィクトリーナ姫路



監督：セリンジャー アヴィタル
コーチ：長江 祥司

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

3	19	第1セット 【 00:28 】	25	2
	23	第2セット 【 00:35 】	25	
	25	第3セット 【 00:26 】	15	
	25	第4セット 【 00:29 】	20	
	15	第5セット 【 00:21 】	13	

ポイント 【】内はセット時間
- ()内は交代選手 -

SAGA久光スプリングス



監督：酒井 新悟
コーチ：豊暉原 峻

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

SAGA久光スプリングスのサーブ&ブロック、ディフェンスは素晴らしく、第1、第2セットを先取された。しかし、6-14と大量にリードをされながらも、第2セットは23-25まで追いつき徐々に姫路のリズムをつくっていった。セットカウント2-0とリードしたことでSAGA久光の方にプレッシャーがかかったのか、第3、第4セットを姫路が取りフルセットに持ち込めた。

途中から起用したアナがSAGA久光のレフト攻撃を阻止し、最後はMVPに輝いた井上が渾身のスパイクをたたきこみ、皇后杯初優勝を成し遂げることができた。

姫路から応援にかけつけてくださったファンの方々、スポンサーの皆さまに心から感謝しています。

<監督コメント>

最初に天皇杯・皇后杯決勝にふさわしい戦いをした両チームを讃えたい。そして優勝したヴィクトリーナ姫路を祝福したいと思います。

この一戦に向けてチームとして最大限の準備をしてきました。スタートから良い展開をつくることはできていたが、徐々に相手に対応されて、自分たちが後手に回ることが多くなってしまった。勝利まであと少しの展開となり非常に悔しい敗戦となった。

大同生命SV. LEAGUEが続いているなか、今回の大会で出た反省点をしっかりと修正して次の試合につなげていきたい。

両チームへのたくさんの応援有難うございました。

19	チャッチュオン	田中	第1セット	深澤	栄	25
	()	(渡邊)		()	()	
	宮部	伊藤		荒木	平山	
	()	()		(高橋)	()	
	櫻井	井上		サムディ	北窓	
	()	()		()	(中川)	

リベロ： 森田

リベロ： 西村

23	宮部	井上	第2セット	深澤	栄	25
	()	()		()	(吉武)	
	櫻井	田中		荒木	平山	
	(ミンニヤ)	(アナ)		(高橋)	()	
	チャッチュオン	伊藤		サムディ	北窓	
	()	(佐々木)		()	(中川)	

リベロ： 森田

リベロ： 西村

25	チャッチュオン	アナ	第3セット	深澤	栄	15
	()	(渡邊)		()	(吉武)	
	宮部	伊藤		荒木	平山	
	()	()		(高橋)	()	
	櫻井	井上		サムディ	北窓	
	()	()		(奥原)	()	

リベロ： 森田

リベロ： 西村

25	宮部	チャッチュオン	第4セット	深澤	栄	20
	()	()		(高橋)	(吉武)	
	櫻井	アナ		荒木	平山	
	()	(渡邊)		()	()	
	井上	伊藤		サムディ	北窓	
	()	(佐々木)		()	(中川)	

リベロ： 森田

リベロ： 西村

15	チャッチュオン	アナ	第5セット	深澤	栄	13
	()	(渡邊)		()	(吉武)	
	宮部	伊藤		荒木	平山	
	()	(佐々木)		(高橋)	()	
	櫻井	井上		サムディ	北窓	
	()	()		()	(中川)	

リベロ： 森田

リベロ： 西村

<要約レポート>

令和6年度 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会女子決勝。
決勝初進出のヴィクトリーナ姫路と2年連続決勝に駒を進めたSAGA久光スプリングスの戦いはフルセットの好ゲームとなった。
第1セット、SAGA久光はサムディを中心とした攻撃に対し、姫路はチャッチュオン、井上を中心とした攻撃で対抗する。
中盤SAGA久光は荒木のブロックやアタックなど4連続ポイントで優位にたち、終盤に粘る姫路を振りきりセットを先取すると、第2セットもそのままSAGA久光は北窓や深澤のアタックや荒木のブロックなどで試合を優位に展開し、連続してセットを取る。
第3セット、一進一退の攻防が展開されるなか、姫路は宮部、チャッチュオン、井上の攻撃を中心に粘り強いレシーブから多彩な攻撃をしかけリードを広げ、セットを奪い返すと、その勢いのまま第4セットも連取する。
第5セット、姫路はチャッチュオンや宮部の変幻自在の攻撃をしかけ、一方のSAGA久光はサムディを中心に攻撃を組み立てる。中盤姫路は井上のサービスエースやアナのブロックでリードをし、対するSAGA久光は荒木や北窓の攻撃で追いついていくが、最後は姫路・井上のアタックが決まり、悲願の初優勝をおさめた。